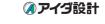




döcomo ② NTT東日本 ム 武蔵野銀行 ② 富士薬品 レまむら



( ) 武蔵コーポレーション FRONTIER ★ UNDER ARMOUR.

































#### 切り替えと強度。栃木の堅守をこじ開ける

3連戦の最終戦は、2試合連続のホームゲー ムだ。大分と引分けた前節の試合後、相馬監 督は「この勝点 1をしっかりと価値あるものにする ために、次は勝点3につなげられるようにしたい」 と話した。勝点5差で追いかける18位の栃木戦 は、確実に勝利をつかみたい一戦である。

栃木はリーグで3番目に失点が少ない。 守備 時は [5-4-1] のブロックを敷く相手に対しては、 大分戦と同じように切り替えとプレー強度にこだ わりたい。攻から守への素早い切り替えで失っ たボールを奪い返し、ショートカウンターから中 野が決め切った大分戦の2点目は、チームの狙 いが明確に表われたものだった。

今季はセットプレーからの得点を増やしてい る。過去2シーズンは二桁に届かなかったが、こ こまでリーグ2位の15点を記録している。第35 節の甲府戦は直接FKから、大分戦は左CKから、 袴田が決めた。第31節の仙台戦でも、CKの 流れから袴田がゴールしている。

ア節カード vs アルビレックス新潟 9/25 (日) @デンカS

守備では高さ対策がポイントになるだろう。グ ティエレスや矢野らの高さを、セットプレーで活 用されないようにしたい。

前節から声出し応援が導入されている。 NACK5スタジアム大宮が作り出すあの一体感 が、ついに戻ってきた。ファン・サポーターとと もに戦い、勝点3をゲットしたい。 (戸塚 啓)

#### 4-4-2 OMIYA ARDIJA TOCHIGI SC 3-4-2-1 予想フォーメーション 3 35 19 大島 24 (16) グティエレス 14 15 30

# LAST MATCH

2022.3.13 SUN J2第4節 @カンセキ 

小野のボレーで先制するも、追いつかれ痛み分け

栃木のハイプレスにビルドアップで対抗するという構図の試合となった。28分に先制点 が生まれる。この試合最初のCKから、小野が正確な左足ボレーでゴールネットを揺らした その後も同様の展開が続くと、72分に試合が動く。相手のFKをトカチに直接決められ同。 に追いつかれる。その後両者とも猛攻を見せるがスコアは動かず、痛み分けに終わった。

山田 将之

①1994/10/1 ②186/80 ③3年目

れる鋭いサイドチェンジも魅力

矢島 輝ー

①1995/4/6 ②187/84 ③2年目

4) 埼玉県 (5) 9/0

#### 出場停止: - 累積警告3枚:-※色の濃淡は大宮のホットゾーンを表しています。プレー頻度が高くなるに つれ色が濃くなります 累積警告3枚: 西谷、グティエレス、大森、矢野 出場停止: 通算対戦成績 富山 貴光 柴山 昌也 矢野 貴章 谷内田 哲平 河田 篤秀 矢島 慎也 カルロス グティエレス 黒﨑 隼人 矢島 慎也 小島 幹敏 根本 凌 大島 康樹 菊地 俊介 河田 篤秀 宮崎 鴻 カルロス グティエレス 4 得点 黒崎 隼人 他2名 袴田 裕太郎 茂木 力也 他1名 ジュニーニョ 他7名 データ協力 🚮 STATs







①1996/9/27 ②176/72 ③1年目 ①1990/6/16 ②180/80 ③1年目 ⑥31歳にしてリリーグ初挑戦。昨季 ⑥最終ラインならど











岡庭 愁人

茂木 力也

①2000/4/18 ②175/73 ③4年目





鈴木 俊也

①生年月日 ②身長/体重 ③所属年数(期限付き移籍期間含む) ④出身地 ⑤大宮での今季のリーグ戦出場/得点 ⑥一口メモ







大橋 尚志

①1996/12/1 ②183/72 ③1年目

西村 慧祐

①1998/2/19 ②187/81 ③3年目

に相手の隙間を縫う楔のパスが特長。セットプレーから得点を狙う

④千葉県 ⑤27/2

ー。右足から放た ボールを刈り取る大型ボランチ。ミ 請負人。高い足元の技術と統率力を ェンジも魅力 ドルシュートからゴールも狙う 発揮しチームを後方から支える

④茨城県 ⑤19/0





田代 真一

①1988/6/26 ②183/73 ③1年目

袴田 裕太郎

①1996/6/24 ②183/75 ③1年目

4静岡県 ⑤7/3

④東京都 ⑤13/1





菊地 俊介

①1991/10/4 ②180/75 ③3年目

ポリバレントな選手。シュート技術が 高く、ポレーシュートは秀逸

小島 幹敏

①1996/9/17 ②178/70 ③8年目

④埼玉県 ⑤26/0

④埼玉県 ⑤27/4





中野 誠也

①1995/7/23 ②173/66 ③2年目

4静岡県 ⑤15/2

河田 篤秀

①1992/9/18 ②177/77 ③2年目

ちたがり屋。目指すは20得点

④大阪府 ⑤34/7







武田 英寿

①2001/9/15 ②177/70 ③1年目

④宮城県 ⑤24/0

ストライカー。自他ともに認める目立 加入。左足のキックは絶品で、セット セナがり屋 日歩すは20得占 プレーからゴールをお膳立てする

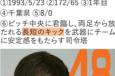
山﨑 倫 ①2003/5/20 ②175/60 ③1年目 ①2002/7/2 ②161/59 ③2年目



新里 亮 ①1995/5/7 ②174/67 ③9年目 ①1990/7/2 ②184/73 ③1年目 ④埼玉県 ⑤18/0 ④愛知県 ⑤32/2 ペスを織り交ぜ攻撃をオーガナイ るCB。相手の逆をとるパスを通しスムーズなビルドアップを見せる











上田 智輝

①1996/3/3 ②182/80 ③2年目

④奈良県 ⑤2/0



①2001/8/15 ②180/64 ③3年目 ④埼玉県 ⑤13/0 ラー。両足から力のあるシュートを 打てる。プロ初得点を早く見たい



高柳 郁弥 12000/10/4 2172/65

④埼玉県 ⑤1/0 ※JFA・Jリーグ特別指定選手 ④東京都 ⑤1/0 ※JFA・Jリーグ特別指定選手 ⑥ビッチ中央に君臨し、両足から放 ⑥足元の技術が高いGK。第6節で ⑥大宮アカデミー出身で吉永と同 ⑥一瞬のスピードで相手を抜き去 期。豊富な運動量を武器に好機を演出する。東洋大から来季加入内定 イカー。東洋大から来季加入内定

右膝膝蓋腱を断裂するも、リハビリ を経て<mark>今月から全体練習に復帰</mark> 〔2種登録選手〕 N 13 高橋 輝

MF 16 仲丸 慎太郎 MF 30 種田 陽 

FW 37 磯﨑 麻玖 ①2006/5/26 ②192/74 ④埼玉県 DF 42 小澤 晴樹 ①2004/6/26 ②176/67 ③埼玉県 ①2004/4/18 ②183/83 ④埼玉県 DF 43 市原 吏音 ①2004/4/22 ②169/56 ③埼玉県 ①2005/7/7 ②185/78 ④埼玉県 GK 44 涌井 寿大 ①2005/4/28 ②169/59 ③埼玉県 ①2004/10/25 ②179/75 ④千葉県

矢島 慎也

①1994/1/18 ②174/70 ③1年目

室井 彗佑

12000/4/17 (2)170/65

# God and Serve His



■政治経済学科 ■子ども教育学科 ■欧米文化学科 ■日本文化学科 ■心理福祉学科

大宮駅から1駅・宮原駅下車

※2023年4月より「児童学科」は「子ども教育学科」に名称変更予定。

#### PREVIEW **TOCHIGI SC**

#### 勝点40。勝って残留を確実にしたい

今年の栃木は時崎監督が就任した1年目。栃 キャリアハイまであと1得点に迫る。昨季のアウェ 木といえば「強度」だが、強度を絶対的なベース としながら進化を模索するシーズンを戦っている。 象徴的なのは谷内田、神戸ら若手ボランチコ ンビだ。以前は巧みさが全面に出ていた彼らも 時崎監督らの働きかけによってシーズン中に強度 を引き上げ、攻守にタフに戦える戦士に変貌した。 それらが不足すると試合に出られない明確な基準 があるからだ。谷内田らが中盤で牽引することで ボール保持率も上昇中。栃木はかつてのように ロングボールだけのチームではなくなりつつある。 その中で戦う38歳「空飛ぶ鉄人」矢野もまだま

だ進化中だ。現在7得点で09年の新潟時代の

試合を消化して4勝6分4敗とまずまずのペース

イ大宮戦で決めたゴールも最後に "飛んでいた' が、今年はオーバーヘッドを決め切るなどキレ味 が増し、メモリアルな8得点目を虎視眈々と狙う。 栃木は後半戦に入って誰もがチームの積み上 げを口にするようになった。相手や状況に応じて 戦い方も変えられるようになった。後半戦は14

を維持する。前節は仙台に敗れたがシュートや チャンスの数で倍以上の差をつけるなど状態は 悪くない。勝点「40」を確保し、あと1勝でほぼ 残留という状況を前に選手たちのモチベーション は高い。 (エル・ゴラッソ栃木担当/鈴木 康浩)



#### PICK UP PLAYER FW 32 宮崎 鴻 わかりやすく「ザ・駒 大のセンターFW」だ。 大学時代はあの深井正 樹コーチに「当時の巻は な」と薫陶を受け、巻誠 - 郎を理想にプレースタ イルを磨いてきた。ポスト プレーはほぼ負けず、押 22 183/83 してもビクともしない。 **ヨ** ルディ・バイスも勝てな かった。屈強さを生かし たヘディングシュートが 最大の武器で、前節仙 台戦もポスト直撃弾を見 舞った。 母はオーストラリ

ア人。父が淹れる水出

し珈琲が大の嗜好品。

#### 明治安田生命 J2 LEAGUE MEIJI YASUDA J2 LEAGUE STANDINGS

頁位	チーム	勝点:	試合数	lin	分	負	得	失	得失	順位	チーム	勝点:	試合数	lin	分	負	得	失	彴
1	アルビレックス新潟	71	36	21	8	7	64	32	32	12	水戸ホーリーホック	46	35	12	10	13	40	37	
2	横浜FC	68	36	19	11	6	54	40	14	13	ブラウブリッツ秋田	43	36	11	10	15	30	42	-
3	ファジアーノ岡山	63	36	17	12	7	51	34	17	14	東京ヴェルディ	42	35	10	12	13	50	52	
4	ベガルタ仙台	58	36	17	7	12	64	49	15	15	ヴァンフォーレ甲府	42	36	9	15	12	41	47	
5	ロアッソ熊本	58	36	15	13	8	46	39	7	16	ツエーゲン金沢	41	36	10	11	15	43	60	-
6	大分トリニータ	56	36	14	14	8	51	41	10	17	レノファ山口FC	40	36	10	10	16	39	46	
7	V・ファーレン長崎	54	35	15	9	11	44	39	5		栃木SC								
8	モンテディオ山形	52	35	14	10	11	52	37	15		大宮アルディージャ								
9	ジェフユナイテッド市原・千葉	52	36	14	10	12	38	34	4	20	ザスパクサツ群馬	33	36	8	9	19	26	43	-
10	徳島ヴォルティス	51	36	10	21	5	38	26	12	21	いわてグルージャ盛岡	33	36	9	6	21	31	65	-8
11	FC町田ゼルビア	50	36	14	8	14	44	38	6	22	FC琉球	30	36	6	12	18	37	60	-6



### COMMENTS 相馬 直樹 監督

啓輔が入ってからチャンスが増えた。 チーム全体で良い守備から攻撃へ出る

試合の入りをして先制点を取れていますし、攻撃へ出ることが大事だと考えています。 試合に入る準備を含めて、いい流れを作れ いまの我々の状況からすれば、最低限の ています。ファーストチャンスを決め切れて 勝点 1という結果になったと思いますし、簡 先制できているので、続けていきたいです。 単なゲームではありませんでしたが、連戦の チーム全体に求めている基準やメリハリがなかで選手たちは最後まで戦い切れました。 そろってきていると思います。

たですが、反対にチャンスも作れていたの ましたし、交代するまで守備をしながら攻撃 で、勝つ可能性もあったと感じています。でもいいポジションを取ってくれていました。 あの試合展開で、何が何でも勝点3を取り リーグ終盤戦に向けて選手起用の選択 に行くメッセージを出すのか、それとも勝点 肢が増えていることはうれしいですし、相手 1は最低限確保しながら、勝点3を取るといの強みや弱みを見ながらカードを切っていき う狙いを伝えるのか、といったなかで、87 たいです。3連戦の最後ですので、流れを 分から啓輔(大山)を左サイドに入れました。 見ながら続ける部分と変える部分を見極め 啓輔が入ってからチャンスが増えたと思いま てこの一戦に臨みたいです。

この連戦はしっかり戦えています。いいなすので、まずはチーム全体で良い守備から

倫(山﨑)は攻守両面で連続性を高く 前節の大分戦は負けてもおかしくなかっ 持って、相手にとって嫌なプレーをしてくれ

#### DF 25 袴田 裕太郎 チームとして一つになって 戦えている感覚がある

前節は味方を信じて走っていたところに自分が左サイドハーフとしてできることは、 ボールが流れてきて、うまくゴールを決めら たくさんはありません。ドリブル突破をするタ れましたが、得点後に少しフワッとしてしま イプでもありませんが、特に守備のバラン い逆転されてしまいました。その後に追いつスの部分を考慮されていると思いますので、 けたことは良かったですが、そこの課題に目・チームのために汗をかくプレーをしたいです。 を向けていきたいです。

いかなくてはいけません。逆転されたときに れるならどこでもプレーしたいですし、勝利の みんなで集まって、相手の攻め方や特長を ために与えられたポジションで求められる役割 しっかり確認できましたし、選手間のコミュニを果たすことだけを考えています。 ケーションも深まっているので、チームとし 3連戦の2試合をホームで迎えられることは

に応えられるように勝ちたいです。

## チームのために 汗をかくプレーをしたい

MF 15 大山 啓輔

サイドハーフのときは、ボランチより緩急をつ 先制点を取れた後の雰囲気を大事にして ける必要があると感じています。試合に出ら

て一つになって戦えている感覚があります。アドバンテージだと思いますし、サポーターが サポーターの応援には鳥肌が立ちました 作り出すあの雰囲気のなかで戦えることは間 し、声量もすごく、僕たちと一緒に戦ってく 違いなく力になります。前節の勝点1を意味 れました。 次こそサポーターの皆さんの期待 のあるものにするためにも、この試合で勝点 3を取らなくてはいけません。